

令和2年9月14日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会
会 長 藤 澤 毅

地方創生推進交付金事業の評価について

【評価結果】

尾道市が地方創生推進交付金を活用し、令和元年度に実施した2事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

(評価理由)

・しまなみDMO形成推進事業

平成30年7月豪雨からの回復を主要因として、全てのKPIの実績値が増加しており、イベント事業ではロゲイニング方式等の新たな試みが新規顧客の獲得に寄与している。

・SAVOR JAPAN（農泊食文化海外発信地域）活動推進支援事業

全てのKPIの実績値が増加しており、観光消費額及び認定農業者数の指標は目標値を上回っている。

(指摘事項)

・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度はKPIの落ち込みが予想されるが、ウィズコロナ・アフターコロナでのV字回復を図るために、令和2年度の落ち込みを最小限に抑える取組に期待する。

・これまでの取組により、瀬戸内に対する国内外からの認知度は上昇しているが、今後は市域全体にも事業効果が波及するよう、また、特定の事業者以外にも事業効果が波及するよう、事業展開を期待する。